

平成25年度学内版 GP 成果報告書

取組名称	地域づくりを牽引する技術者育成教育 ー技術者の複眼的感性涵養のための「まち」なかキャンパスー
実施組織 (または対象のカリキュラム)	工学部
※連携する他学部・機関がある場合は記入	須坂市
実施責任者(所属)	土本俊和 (工学部)
取組の目標	文化資源が豊富な須坂市を現場として、地域の文化に関する造詣と地域のニーズをふまえて新たな知を創造することができる、地域づくりを牽引する技術者を育成する教育プログラムを構築する。
1. 目標達成のために行った活動と成果 (箇条書きで項目ごとに番号を付けて記載。成果の詳細は必要に応じて別添とする)	①講義 ・講義題目：【3年次生対象・後期開講必修科目】 建築設計製図第4「街区の再生」・「民家の再生」：須坂市における歴史的建造物と歴史的市街区の再生案を提案した。須坂市（旧上高井郡役所）にて計10回の講義を行った。2月8日に市民公開講評会（須坂市シルキーホール）を開催し、優秀作の発表を行った。 ・講義題目：【2年次生対象・後期開講必修科目】 建築設計製図第2「住宅の設計」：須坂市内の敷地に4人家族用の住宅を提案した。1月10日から30日までの期間、須坂市（旧上高井郡役所）にて、優秀作の展示会を開催した。 ②調査・研究 ・旧小田切家住宅の保存・活用にむけた基礎調査【期間：通年】 旧小田切家住宅（平成24年に須坂市が取得）の建物について、平成24年度に引き続き、保存・活用にむけた基礎調査を実施した。 ・田中下屋敷の建物調査【期間：通年】 田中下屋敷の建物について、現状やかつての様子を把握した。2月8日に市民公開講評会（須坂市シルキーホール）を開催し、調査結果の発表を行った。
2. 目標達成度に関わる所見と今後の展望	本年度は、須坂市中心部に位置する旧小田切家住宅を対象として、建物や町の再生、文化財の保護、歴史を活かした町づくりに関する課題を展開した。来年度も旧小田切家住宅を対象とし、とりわけ、付近の文化遺産との関係性を重視したまちの再生に関する課題を設定する。